

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">日本国憲法</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部全学科 1 回生 教育教福 1 回生 人間人社 1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">浅野 宜之</p>
<p>授業テーマ</p> <p>日本国憲法について、基本的な知識を身につける</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>憲法は、国家の基本法としてその運営方針を定めたものであり、また国民・住民の基本的権利を保障する重要な道具でもある。本講義を通して憲法の働きを把握し、日々の暮らしの中でいかなる点が憲法と関わっているのか、考えるきっかけを見つけていただきたい。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席状況およびレポート、ミニテスト（講義内試験）を通じて総合評価を行う。</p>		
<p>テキスト</p> <p>憲法の解説（五訂版）</p>	<p>著者</p> <p>憲法教育指導研究会</p>	<p>出版社</p> <p>一橋出版</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 憲法とは何か、なぜ憲法を学ぶのか 歴史的背景：近代法秩序と憲法について、学生・公務員・教員・労働者と憲法 2. 日本国憲法の原理、基本的権利について 日本国憲法の三原理、基本的人権の主体：個人・団体、国民・外国人、共同体 3. 平等 形式的平等と実質的平等、平等にかかわる判例、アファーマティブ・アクション 4. 信教の自由 狭義の信教の自由と政教分離、信教の自由にかかわる判例 5. 表現の自由 表現することと政治的参加、表現の自由とプライバシー 6. 生存権 生存権の内容：「健康で文化的な最低限度の生活」とは、生存権にかかわる判例 7. 教育を受ける権利 教育法制と憲法、教育を受ける権利と教育権、関連判例 8. 経済活動にかかわる権利 職業選択の自由、財産権 9. 人身の自由と司法制度改革 法の適正手続、刑事手続と憲法、裁判を受ける権利と司法制度改革 10. 国会 国権の最高機関・唯一の立法機関、衆議院の優越とは 11. 内閣 行政府のあり方、議院内閣制とは、内閣の職務 12. 裁判所 裁判所制度、違憲審査権、司法権の独立と大津事件 13. 地方自治 地方自治の本旨、住民自治と団体自治という見方、コミュニティと憲法 14. 平和主義 平和主義の意味、憲法第9条とこれに関わる判例 15. これまでの要点ふりかえり 		